

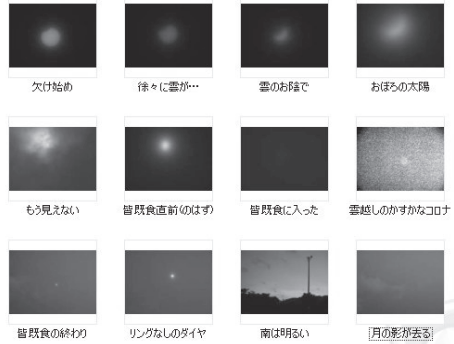
特集日食報告

ころんでもただでは起きない、受領の如く…

中山 浩（京都市立堀川高等学校）

今回の奄美大島の日食ツアーは、黒河先生のお人柄のお陰か、大変落ち着いた（ゆったりした）観測旅行を楽しむことができました。ありがとうございました。結果は、かなり残念、ただこればかりは天の成せる業ですから仕方ありません。日本で見ることに意義があったのだと、挑戦したことに後悔はありません。一緒に参加させていただいた中1の息子・宙（そら）にはいつかまた別の場所で挑ませたいと思います。

奄美の結果は残念とはいえ、教科地学では休み明けの1時間に、ころんでもただでは起きない受領の如く、こんな風に写真をダイジェスト版にまとめ、奄美大島の様子と合わせて、1時間で紹介しています。



下図は、島津理化器械のエースメモで測定した温度・湿度・日射量の観測結果です。若干注目される点は、1) 温度の下降 2) 湿度の上昇 3) 照度の小刻みかつ極端な下降 などでしょうか。オリジナルデータが必要な方は中山までご連絡ください。

京都や大阪では、特に3)のような下降は観測されなかったようです。

さて、堀川高校は、7月22日、夏休みの講習を30分中断して、グラウンドでの観望会を行いました。結果は雲越しの欠けた太陽が一瞬見えただけ、とのこと。お祭り好きでイベントが大好きな堀高生（+教員）ならではの行事でしたが、生徒全員で空に目を向けるチャンスとして、NPOの資料も大いに活用させていただきました。

合わせて、お礼とご報告を申し上げます。

